

姫路の不動産会社 赤鹿地所が売買契約件数で No.1 を獲得

～船井総合研究所主宰する不動産売却ビジネス研究会における評価～



【赤鹿地所】不動産売買契約件数大賞を獲得

株式会社赤鹿地所（本社：兵庫県姫路市辻井 1 丁目 1 番 23 号、代表取締役：赤鹿 保生）は、船井総合研究所（本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：真貝 大介）が主宰する「不動産売却ビジネス研究会」において、売買契約件数 1 位を獲得しました。

■ 船井総合研究所 不動産売却ビジネス研究会とは

「不動産売却ビジネス研究会」は、船井総合研究所が主宰する、不動産売却・売買仲介分野に特化した研究会です。全国の不動産会社が参加し、売買仲介における営業手法、組織づくり、集客・成約プロセスなどについて、実践的な情報共有と研究が行われています。

■ なぜ赤鹿地所は売買仲介分野で評価を受けたのか

当社は、姫路市を中心に不動産売買を主軸とした事業を展開してきました。地域特性や市場動向を踏まえた価格設定、売主買主双方に寄り添った提案、スピード感ある対応力を強みとし、着実に売買仲介の実績を積み重ねてきました。こうした日々の取り組みが、第三者機関による評価につながり、今回の受賞に至りました。

■ 赤鹿地所が今後も売買仲介に注力する理由

不動産売却では、地域ごとの市場動向や買主ニーズをどれだけ深く理解しているかが結果を大きく左右します。当社は、地元姫路に根ざした不動産会社として、エリアごとの相場感や需要の高い立地条件、実際に成約につながりやすい価格帯を熟知しており、現実的かつ成約につながる売却提案を強みとしています。

近年は、相続をきっかけとした不動産売却の相談も増加しています。相続不動産は、権利関係の整理や今後の活用方針の検討など、一般的な売却以上に慎重な判断が求められるケースが少なくありません。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社赤鹿地所 担当：足立 TEL：079-295-7774 MAIL：press@akashika.com

当社では、相続の背景やご家族の状況を丁寧に伺いながら、売却・保有・活用といった複数の選択肢を踏まえた提案を行っています。

また、地域内で長年培ってきた買主ネットワークや取引実績により、情報発信力とマッチングのスピードにも優れています。こうした地域密着ならではの情報力と対応力こそが、売買仲介分野で成果を上げ続けてきた理由であり、当社が今後も売買仲介に注力する大きな理由です。

今後も、地元姫路の市場を熟知した不動産会社として、単なる取引数の拡大ではなく、売主一人ひとりに寄り添った売却支援を行い、安心と納得につながる取引の実現を目指してまいります。

【会社概要】

社名：株式会社赤鹿地所

本社所在地：兵庫県姫路市辻井 1 丁目 1 番 23 号

代表取締役：赤鹿 保生

事業内容：宅地分譲事業、不動産買取事業、不動産売買仲介・
賃貸仲介・管理、不動産の各種コンサルティング業務

設立：1986 年 9 月 3 日

HP①-お客様向けサイト：<https://www.akashika-jisho.co.jp/>

HP②-コーポレートサイト：<https://corp.akashika-jisho.co.jp/>



【本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先】

株式会社赤鹿地所

担当：足立

電話：079-295-7774

FAX：079-295-7705

Email：press@akashika.com